

講演会のご案内

こいしあつこ  
古石篤子氏

(慶應義塾大学 名誉教授)

「言語権」を考える

～真の多文化共生のために～

日 時 2016年 12月9日 (金) 11:00～12:30

場 所 多摩キャンパス3101教室 (文学部3号館高層棟1F)

\*\*\*\*\*

「言語権」とは一体なにを指すのでしょうか。「言語の権利」？ 言語は、日本語、ドイツ語、フランス語などの総称？ 「多文化共生」の「多文化」とは？ わたしたちは日常生活の中で、特に意味を考えることもなく、あまりにも便利にそうしたことばを使ってはいないでしょうか。

今回の講演では、移民の大人・移民の子どもの言語教育について、また日本手話とろう者についても取り上げ、みなさんと一緒に「言語権」とはなにかを考え、お話しさせていただきます。ドイツにもフランスにも、日本よりずっと多くの「移民」がいます。そして、ドイツにもフランスにも「ろう者」がいます。つまり、どの国にも「言語マイノリティ」と言われる人々がいるのです。

古石先生のご専門は、フランス語教育学・フランス語学で、『外国語教育は英語だけでいいのかーグローバル社会は多言語だ！ー』くろしお出版(2016年)や、語学教材『金色の眼の猫(CD付)』駿河台出版社(1999年)などを出版していらっしゃいます。ドイツ語文学文化専攻主催の講演会に、フランス語の先生をお招きした意味も合わせて考えながら、ご参加いただければと思います。

\*\*\*\*\*

主催：中央大学文学部ドイツ語文学文化専攻

(この講演会は文学部「特色のある学部教育補助予算」の助成を受けて開催されます)

問い合わせ先：ドイツ語文学文化専攻共同研究室(3号館5F、Tel: 042-674-3739)

事前申込不要